

課題番号2

課題名	【重点課題1】意欲の高い農業者の経営改善支援 新規就農者から重点指導農業者までの経営発展支援	
対象:	認定農業者、新規就農者	計画期間 R4～R8 事務所名 中部農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
経営拡大意向を有する農業者への集中的な支援	経営向上意欲の高い農業者35名を重点指導農業者に位置づけ、個々の課題に応じて、巡回指導や中小企業診断士等の専門家の派遣・伴走支援等を行った。	①認定新規就農者数(R6年度認定数4名、R4からR6年度までの累計13名) ②認定新規就農者 販売額合計(R6年度4,446万円) ③重点指導農業者 販売額合計(R6年度88,436万円)

総合評価 (コメント)
<p>A : 3名 B : 2名</p> <p>■兼業農家や半農半Xの捉え方(定義)をより厳密に行い、どのような担い手を育成・支援していくのか、より明確にすることが必要。</p> <p>■多様化する農業者の課題に対し、関係機関と専門家と連携して真摯に取り組んでいる。特に重点指導農業者に対しては技術指導に留まらず、経営全般の支援を図り、販売金額の大幅な増加に結び付けていることを評価。</p> <p>■スマート機器導入や技術指導、農地確保の支援等、総合的に新規就農者を支援する取組が素晴らしい。売上増進の手段として苺が候補になることが多いが、同地域には古くから多くの特産物が有り、それらの強みを生かした農業の提案強化も期待したい。管内では市街化が進んでおり、新規就農者の農地確保も難しいと思うが、今後も継続した活動をお願いしたい。</p> <p>■新規就農者にとって農地の確保の困難さや初期投資の大変さはあるが、一方、就農希望者が多くいるのに対して十分な相談説明ができていないのではないかと。担い手作りの第1歩となる府・市・JAの連携した対応が十分でない地域が多いせいなのかかわからないが、要となる府の普及活動がより重要だという課題を示してくれた。</p> <p>■市街化地域で農地拡大のことを考えると、数少ない大きな農家だけでは、農地保全は困難かと思えます。 半農半X的なところへの支援も今後の検討課題かと思えます。</p>

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。